

水の大切さを再認識

南大島浄水場を開放



これから登る配水塔の階段に興味津々

5月23日、東小学校4年生が授業の一環で南大島浄水場を見学しました。訪れた児童は管理棟内を見学後、高さ30mの配水塔に登り、また、水道課職員に水に関するたくさん質問をするなど、水道について熱心に学びました。

また、町では水道週間中の6月1日に、水の大切さを再



ゆっくりと町を眺める見学者

認識してもらおうと、同浄水場を一般開放。管理棟内部の公開やパネル展示、水ヨーヨーと綿あめサービスが行われたほか、配水塔も開放しました。悪天候の一日でしたが、雨のやんだ時間帯には、多くのかたが訪れ配水塔からの眺めを楽しんでいました。

軽自動車「奉仕号」

車椅子用自動車

町社会福祉協議会では、車椅子を必要とする障害者および高齢者等の外出支援を図るため、車椅子用自動車の貸出し事業を平成15年7月1日から実施しています。

この車両は「奉仕号」と言い、奉仕銀行の寄付金によって購入され、障害者や高齢者等の通院や買い物など日常生活を行う場合の利便性を図るとともに、行事やレクリエーション等に積極的に参加できるように貸し出しをしています。



機能性の良い奉仕号

気合いの入った声が響く

第1回少林寺拳法演武会



気はくの入った構え

たくさんの人に見てもらうことを目的に、6月22日、第1回少林寺拳法演武会が中央公民館で開かれました。

同町では、少林寺拳法の大衆会がないため、これまで支部内での演武会を開いていたが、今回初めて明和支部を中心に6支部の道場に通う会員約60人が、日頃から磨いた技を披露。

砂賀支部長は「演武会は会員の成長を見てもらうと共に、精神的な面を養うよい機会です」と話してくれました。